



〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で
自己肯定感、人や社会と関わる力
生活習慣など、将来の自立に向けて
ストレスに負けない生き抜く力を
育む。

児童発達支援 ポコアポコ 支援プログラム

〈法人(事業所)理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立
に向けて、家庭環境や発達の特性等様々な困難
に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心
して過ごせる居場所を目指す。



〈営業時間〉

月曜日～金曜日
8:30～17:30

〈送迎の有無〉

あり

本人支援

〈健康・生活〉

「たくさん笑う子ども」

子どもの脳の成長期(0~3歳)に脳の土台を強いものにするためには笑って喜びを感じる事が有効とされています。

子どもがたくさん笑える環境になるよう、スタッフみんなも笑顔で支援しています。

〈運動・感覚〉

「五感を刺激」

戸外活動を中心として、自然(景色、音、匂い)を感じながら畑遊び、お散歩、水・泥あそび等を行い五感を刺激しています。

身体を思いっきり動かして心と身体の成長を促しています。

〈言語・コミュニケーション〉

「元気な声であいさつ」

お友だち、スタッフ、お散歩途中で出会った人へ元気にあいさつをします。毎日2冊以上の絵本の読み聞かせや日々の生活の中で様子を一つひとつ言葉で伝えて会話をしながら言葉の習得につなげています。

〈認知・行動〉

「たくさん褒める」

子どもは前向きな言葉をかけられることで自己肯定感も高くなります。出来たこと、出来ていることを伝えてたくさん褒めて自信につなげて、自分らしく素直な感情を表現することができるようにしています。



〈人間関係・社会性〉

「社会性を育てる」

ソマリッサ(4・5歳児)の子たちと関わることで、「自分もやってみよう!」という力を伸ばしています。やってみたいという自主性をあたたかく見守り、自信につなげることで社会性が育つように支援しています。

〈家族支援〉

療育の様子等を連絡帳（保護者連絡ツール用アプリ「コドモン」の運用）や送迎時に伝え、定期的に面談を行い支援について共有しています。

本児が自分で考え、選択できるように一緒に具体的な方法を伝え、実践出来るようにしています。

〈移行支援〉

移行先（保育所や幼稚園、学校）へ活動の際のこどもとの関わりについてなど伝えてスムーズに移行できるよう連携をとっていきます。

高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かして自立に向けて相談事業所とともにサポートを行います。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面でのこどもとの関わり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋げています。

自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会 ○避難訓練 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス ○おもちつき ○節分 ○ひなまつり ○震災を忘れない
- 社会体験（図書室利用、お買い物体験、リサイクル活動、お泊り会）